

年 組 名前：

市川三郷「ご当地ナンバー」交付

マスコットや花火 図柄に



市川三郷町と町商工会は、枚数限定でミニバイクのご当地ナンバープレートを交付している。町内の小中高生から公募したデザインで、町に元気がなくならぬように、25年7～8月に町内の小中高生からデザインを募り、308点の中から審査の結果、青洲高1年の市瀬楓さん(当時三珠中3年)の案が採用された。市瀬さんは、町や町商工会による審査の結果、青洲高1年の市瀬楓さん(当時三珠中3年)の案が採用された。市瀬さんは、町や町商工会による審査の結果、青洲高1年の市瀬楓さん(当時三珠中3年)の案が採用された。市瀬さんは、町や町商工会による審査の結果、青洲高1年の市瀬楓さん(当時三珠中3年)の案が採用された。

市川三郷レンジャーや神明の花火がデザインされたご当地ナンバープレート



峡南
飯野 皆川 終平 陽登

青年部の担当者は「プレートを付けたバイクが『走る広生塔』として全国各地で町の魅力を発信してもらいたい」と期待を寄せた。
〈皆川陽登〉

(2026年5月12日付 山梨日日新聞 13面)

問1 市川三郷町のご当地ナンバープレートには、何と何が描かれていますか。

.....

問2 町商工会青年部が、この事業を企画した目的を教えてください。

.....

問3 あなたが、ご当地ナンバープレートをデザインするとしたら、どのようなデザインにしたいですか。

.....